

編集後記

つい先日まで涼しい日が続き、今年も昨年と同じような過しやすい夏が来ると期待していたとたん、例年より1週間も早く梅雨があけ、おそろしく暑い夏がやってきそうである。また、新聞では通り魔殺人事件や小中学生の暴力問題など平和な日本の底にひそむ精神面のひずみが思いおこされる。

本年は国際障害者年であり、国内外で種々の学会やセミナーが催されますが何んとなくお祭りさわぎの感じがつよくて、障害者の内面をもっと探りさげることが必要と思われる。

本号はリハビリテーションにおける精神面での問題をとりあげるべく小此木啓吾氏を特別編集委員としてお迎えして特集を組んだ。周知のごとくここ10年間の我が国のリハビリテーション医療は実にめざましく、その背景にはリハビリテーション医をはじめとして、他の医療専門職種の教育と養成の成果にあるといえよう。しかしながら、リハビリテーション医療専門職種のなかでも、我が国において最も遅れている部門が臨床心理の分野であり、いわゆる consultation-liaison psychiatry を専門とされる小此木・乾両氏の「リハビリテーション医療」における精神的問題は総論的にわかりやすい解説である。つづいて小児、青壮年、老人とその家族との問題点をそ

れぞれ渡辺、木下、奥川の各氏がリハビリテーション医療の場における症例をあげて、その心理的なアプローチを論じて下さった。また、大沼氏の「てんかんのリハビリテーション」はかねがねこの方面での専門家に執筆いただこうとしていた予定がようやく本号でかなったわけである。「研究と報告」で佐藤氏は特集と奇しくも同じく脳卒中患者の精神機能面での問題点をあげ、また山下氏他の短下肢装具もプラスチック材質の科学的特徴を折りこんだ興味ある研究報告である。

「講座」では膠原病および脊椎の基礎知識をリハビリテーション医のエッセンスとして書いていただいた。高松氏の動作訓練は読んでいくうちに障害児に対する医療と教育のよりよい融合を提議するものであり次号の最終回がまたれる。

最後になったが、巻頭言でのべられた高橋氏の将来、過剰?となる医師へのリハビリテーション医学への呼びかけは我田引水の感は少々あるにしろ、多くの医学生によませたい文である。

ともかく「総合リハ」は気楽によめるのがとりえであり、ごろりと横になってパラリと読むだけで得るところは大なることうけあいでありませう。酷暑の折からどうぞ御自愛下さい。(千野 直一)

次号予告(第9巻第9号)

特集 コミュニケーション介助手段

聴覚障害者のコミュニケーション

介助手段……………国立身障者リハセンター

視覚障害者のコミュニケーション介助手段……………国立特殊研

言語障害を合わせ持つ重度脳性麻痺児・者の

教育とコミュニケーションのための

シンテム……………神奈川リハセンター

四肢障害者のコミュニケーション

介助手段……………総合脊損センター

視覚障害者とカナタイプ……………日本盲人職能センター

喉摘後の発声補助具について……………戸田中央病院・耳鼻科

「平等と参加」について……………日医大

在宅重度身体障害者に対するリハビリテーション

サービス：身体障害者更生相談所からの

アプローチ……………川崎中央病院

市販環境制御装置に関する考察……………兵庫リハセンター

リハ医のためのリウマチ・膠原病入門

9：結節性動脈周囲炎……………順大・内科

動作訓練法について 6：補足……………総合療育センター

脊柱 3：脊柱の生体力学的特性……………自治医大

リハにおけるコンピュータの応用

9：マイクロコンピュータ応用例……………

自治医科大学リハビリテーションセンター

初代部長 大井淑雄教授……………東大・整形

第16回九州リハビリテーション

医学懇話会……………産業医大・リハ医学

特

巻頭言
研究と報告

解説
講座

一頁講座

ひと

学会報告

山下 真司

小柳 恭治

土屋 弘吉・他

赤津 隆

松井 新二郎

高藤 次夫

石田 肇

白野 明・他

奥 英久・他

蕨 治言

高松 鶴吉

大井 淑雄・他

津山 直一

浅山 澁

編集顧問

天児 民和
大島 良雄
小池 文英
杉山 尚
砂原 茂一
津山 直一
水野 祥太郎

編集委員

明石 謙
上田 敏
大井 淑雄
大川 嗣雄
千野 直一
土屋 弘吉
横山 巖

編集同人

赤津 隆
今田 拓
今村 哲夫
江口 壽榮夫
小川 孟
萩島 秀男
小野 啓郎
加倉井 周一
河邨 文一郎
小島 蓉子
五味 重春
斎藤 正也
笹沼 澄子
沢村 誠志
鈴木 明子
高田 玲子
武智 秀夫
田中 照子
土屋 和夫
永井 昌夫
中村 隆一
野島 元雄
野村 欽
橋倉 一裕
長谷川 恒雄
林 玉子
福井 園彦
松村 秩
三島 博信
渡辺 英夫
(五十音順)

(細田, 山田)